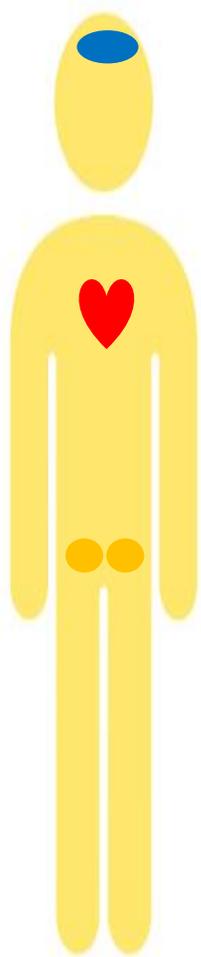


セクシュアリティとは？

セクシュアリティ（性のあり方）とは人間ひとりひとりの人格に不可欠な要素の集まりです。その要素には「心の性：自分自身の性をどう認識しているか」「身体の性：生まれもった身体の性のこと」「好きになる性：恋愛や性愛の対象となる人の性」「性別表現：服装や振る舞い方など」の四つがあります。



▶性自認（性同一性） Gender Identity：こころの性

- ▷シスジェンダー：割り当てられた性別と性自認が一致する人
- トランスジェンダー：割り当てられた性別と性自認が一致しない人

▶身体的・生物学的性Sex Characteristics：からだの性

- ▷男性
- 女性
- インターセックス：身体的な性において「男性・女性」の中間または、どちらも一致していない状態

▶性的指向Sexual Orientation：好きになる性

- ▷異性愛者：異性に性的（or感情的）に惹かれる
- 両性愛者：2つ以上の性別に性的（or感情的）に惹かれる
- 同性愛者：同性に性的（or感情的）に惹かれる
- 無性愛者：どんな性別にも惹かれない
- 全性愛者：すべての性別に（性別に関係なく）性的（or感情的）に惹かれる

▶性表現Gender Expression：表現する性

- ▷男性的（Masculine）：筋肉、ヒゲ、短髪
- 女性的（Feminine）：化粧、スカート、長髪
- ※その他ジェンダーレスやジェンダーバイナリー等
- 男女二元論にあてはまらない性表現もあります

顔が違うようにそれぞれの人で異なるものであり、「性も個性の一つ」であることを理解することから、「自分らしく生きられる社会」づくりが始まります。

「性」は必ずしも明確に分けることはできません。誰もが自分らしく生きることのできる社会をつくるためにも、多様な性について考えてみませんか。

多様な性を持った人が存在するため、「LGBTQ等」や「LGBTQ+」
と言われ、簡単に一括りにすることができないことを表しています。

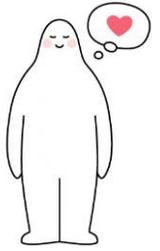
私が好きになる相手

Lesbian レズビアン

自分が女性
↓
女性を好きになる人

Gay ゲイ

自分が男性
↓
男性を好きになる人



Bisexual バイセクシュアル

自分の性別を問わず
↓
性別を問わず好きになる人

Heterosexual ヘテロセクシュアル

自分の性別を問わず
↓
異性を好きになる人

私自身の「性別」

Transgender トランスジェンダー

生まれた時にお医者さんに
割り当てられる性別と、
自分が認識する性別が異なる人

Cisgender シスジェンダー

生まれた時の性別と自分が
認識する性別が同じ人

決めない・決まらない

Questioning クエスチョニング

「自分の性別は何か？」
「好きになる性は？」
↓
決まっていない・決めない人

+ プラス

性別・性は多様であるから
言葉で決めつけるべきではない
↓
ほかにも様々な性がある
そんな意味をこめた+（プラス）

同性に恋愛感情を持つ人や、自分の性に違和感がある人などのことを性的マイノリティと言います。「セクシャルマイノリティ」「性的少数者」とも言います。「異性を好きになるのが普通だ」とか、「心と身体の性別が異なることはない、性のあり方は男と女だけである」という考え方の人が多い社会から見て少数派という意味です。

※マイノリティ...少数、少数派 マジョリティ...多数者、多数派

ジェンダー平等を実現させよう



ジェンダーとは

ジェンダー(gender)とは、生物学的な性別(sex)に対して、社会的・文化的に作られる性別のことを指します。世の中の男性と女性の役割の違いによって生まれる性別のことです。

ジェンダーバイアスとは社会的・文化的に作られた「男らしさ」「女らしさ」という枠の中で、「こうあるべき」という偏見や差別のことです。

ジェンダー平等とは

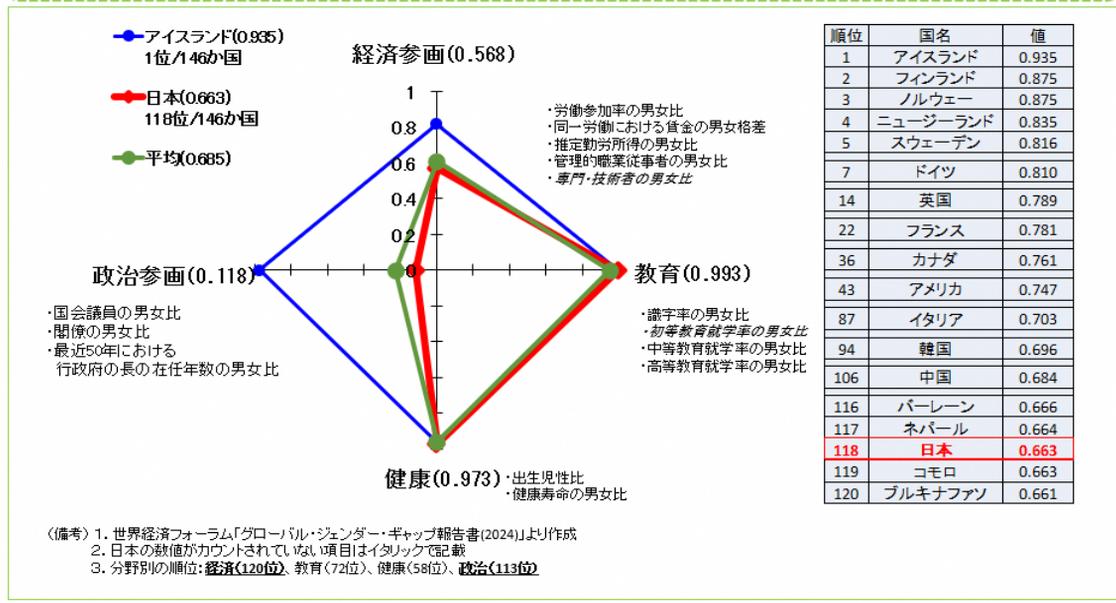
ジェンダー平等とは、一人ひとりの人間が、性別にかかわらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めることができることを意味しています。

2015年の国連サミットで採決されたSDGs (Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標の17の目標の一つが「男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう」です。

社会的・文化的に作られた性別(ジェンダー)を問い直し、ひとりひとりの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会をつくる取り組みが世界中で行われています。

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2024年

- ・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合(女性の数値/男性の数値)を示しており、**0が完全不平等、1が完全平等となり、1に近いほど順位が高いとされている。**
- ・日本は146か国中118位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低い。



男女共同参画局ホームページより引用

女性弁護士相談(無料)

実施日：原則毎月第4火曜日
時間：午後1時30分～午後3時30分
(相談時間30分)
場所：八幡市文化センター2階会議室
要予約：先着3名

[予約方法]
予約電話 075-983-1784
又は、
八幡人権・交流センター窓口
(午前10時～正午・午後1時～4時)



女性相談窓口

女性相談窓口では、女性にかかわる様々な悩みをお受けしています。
一般と専門相談があります。気軽にお問い合わせください。

一般相談

月曜日～金曜日（土・日・祝日・年末年始を除く）

午前10時～正午

午後1時～午後5時（最終受付は午後4時まで）

面接相談と電話相談があります。

（いずれの相談も、1人1日1回）

）女性からの様々なご相談に応じます。

）予約は必要ありません。

専門相談

毎月第2・4の木曜日（祝日の場合は変更）

午後1時30分～午後4時30分

面接相談と電話相談があります。

（いずれの相談も、1人1日1回・50分）

）フェミニストカウンセラーが相談に応じます。

）事前に予約が必要です。（1日3名まで）

（注）初めての方：初回は、面接相談になります。

いずれの相談につきましても、ご相談者の意見を尊重し、お名前やご住所などを必ずお聞きするという事はございません。相談内容は秘密を厳守いたします。安心してご相談ください。

※面接相談は個室でお伺いいたします。

場所：八幡人権・交流センター
（八幡市八幡軸63番地）

TEL 075-983-1784（相談専用電話）

